



北上アビリティセンター

社会福祉法人自立更生会 副所長 赤坂良幸さん

北上アビリティセンター

〒024-0104 岩手県北上市二子町秋子沢

214-7 ☎0197-66-5400

平成元年4月1日設立

事業内容：就労継続支援（B型）事業

就労系活動内容：印刷、軍手製造販売、部品組立、商品企画 他



赤坂さんはまさに“地域起業家”と言える。

返礼品（ナクレ）の詰め合わせセットもここで梱包している。

“カッコいい福祉”で、地域経済に貢献する

現在 40 名弱の利用者が通う〈北上アビリティセンター〉。その玄関には段ボールでつくった人形などいつも面白いものが並んでいる。施設パンフレットもとてもカラフルで、いわゆる「障がい者施設」のイメージではない。

そのクリエイティブ部門をけん引しているのが、副所長の赤坂良幸さん。19 歳の時、アルバイト先にいた障がい者との出会いがきっかけで「彼らの役に立ちたい！」と大学を中退。福祉業界に入り、〈北上アビリティセンター〉の立ち上げから携わってきたベテランである。

現在、印刷業務が中心事業になっている同施設だが、あるデザイナーとの出会いにより赤坂さんはデザインに目覚めることになる。独学で勉強を始めると学校広報などからデザイン依頼が増え、気がつけば企画からデザイン、印刷、販路開拓までのトータルプロデュースをするまでになっていった。

そんな彼が目指すのは、“カッコいい福祉”。「民間企業の下請け、孫請けの軽作業では、利用者のための就労訓練にはなっても、地域の仕事が障がい者施設に回ってきただけ。需要のある独自商品を作って、もっと地域経済に貢献できる組織にならなければならないと思うんです。」

そのひとつの成果が、県内の東日本大震災の被災者と

共同で開発した災害備蓄品。リーフレットの印刷などを同施設で行い、「2017 年度グッドデザイン賞」を受賞したことで問い合わせが急増している。

今回〈北上お試し BOX まごころ版〉に出品しているのは、同施設が単独企画した〈いわてワンコテープ〉。岩手県のゆるキャラ「わんこきょうだい」をモチーフにしたマスキングテープで、昨年開催された岩手国体のオフィシャルグッズにもなった商品だ。パッケージなど、細かな細工があちこちに施されていて、“使えるお土産物”として人気が高い。

「もちろん、色々な種類の作業を〈北上アビリティセンター〉ではしていますが、こういう独自企画の商品を作るのって、ここで働くみんなも楽しく作業してくれるんですよ。それが売れることでさらに自信を持って、やる気が出てくる。そんな循環がもっともっと生まれてくるといいですね。」

商品をきっかけに私たちに興味を持ってくれた人が、一緒にどんなことができるのか、もっと気軽に相談してくれたら嬉しいです。」

広い視点と高い意識を持つ赤坂さんの、“カッコいい福祉”への挑戦をみんなで応援していきたい。